



なっとくんの

なるほどなっとくニュース

Community Museum「地域の宝・学校の宝」学校を中心とした地域の教育的環境の活用をめざして

※なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。



ウミウ(海鵜)

いわくにしいやくに
岩国市岩国



今年は「卯」(うさぎ)年ですが、「ウ」といえば、岩国の鵜飼を連想するのは私だけでしょうか。鵜飼は、鵜を飼いならして、鮎などの川魚をとる漁法です。今回は、岩国の鵜飼で飼われているウミウ(海鵜)を紹介します。



日本には4種のウ(カワウ、ウミウ、ヒメウ、チシマウガラス)が生息しています。岩国など全国各地の鵜飼で活躍しているのは、主にウミウです。

くちばしは、先がすどく曲がっていて、一度くわえた魚が逃げられないようになっています。



目とまぶたの間に、うすい透明な膜「瞬膜」があります。水中では、この瞬膜が水中眼鏡の役目をします。



普通の鳥と比べ、羽に油分が少なく、浮く力があまりはたらかないので、水にもぐるのが得意です。しかし、羽が水をはじかないので、陸上ではぬれた羽を乾かすために翼を広げて日光浴をします。



水かきも大きいね。



レッツ
チャレンジ!

ウミウの飼育施設「吉香 鵜の里」が、錦帯橋そばの吉香公園内にあります。ウミウが泳ぐ姿を間近に見ることができ、鵜飼の歴史についての展示も充実しています。冬は、野鳥を見つけやすいよ。身近な野鳥を探して、観察してみよう!

